※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新編現代文Ｂ　改訂版（大修館書店）						
副教材等	基点◎現代文ゼミⅠ（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生でもあるので、進路に向けて挨拶がしっかりできるように、授業の開始時・終了時の挨拶はしっかり声を出して行う。身だしなみにも注意する。

教科書にある様々なジャンルの文章を自主的に読み、興味・関心を高め、視野を広げる。副教材も活用して、読解力や国語常識の補強をする。

２年次の「現代文 B」で学んだ読解の方法を思い出し、漢字や語句の意味を学習したうえで、極力、自分で読解できるように文章を読む。

板書事項をノートに書き写すときは、文章を写すのであって、記号を写すかのように１字ずつ移すことのないように注意する。

グループ学習等では、普段話さない人も含めグループ内で活発に意見を交換し、文章の読みを深めることに役立てる。

２　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	進んで読書することによって、国語力の向上を図り、自己の人生を豊かにしようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ筋道立てて話したり聞き取ったりする。	目的に応じて必要な情報を収集し、自分の考えを筋道立てて適切に書いたり、効果的に表現したりしている。	文章のジャンルに応じ、構成、展開、要旨などを的確に読み取っている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動観察 発言内容 記述確認	行動観察 発言内容 記述確認	行動観察 記述確認 定期考査	行動観察 発言内容 記述確認 定期考査	行動観察 記述確認 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
	明日をひらく	随筆 『きっと叶いますよ』 ・黙々と働くＨ先生の様子と、それを筆者がどのように感じているかを読み取る。 ・読み取ったことを踏まえて、今まで出会った中で心に残った人物について文章を書く。	○		○	○	○	a:自分の将来について考えながら、教材文を読み取ろうとしている。 b:自身の心に残っている人物について意見を交流し、自らのものの見方や考え方を深めている。 c:心に残っている人物について、なぜそう感じたかを分かりやすく表現している。 d:筆者がＨ先生の働きぶりに感心している点を読み取っている。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査
	情報化時代に生きる	評論 『「検索」時代における読書』 ・「検索」時代の利点と問題点について理解する。 ・本文を踏まえ、読書の意義について自分なりの意見を持つ。	○		○	○	○	a:筆者の主張を自分自身の問題として捉え、考えている。 b:「現代における読書の意義」について意見を交流し、自らの考えを深めている。 c:教材文の内容を踏まえて、「現代における読書の意義」について自分の意見を文章にまとめている。 d:「情報処理」と「思考」の違いを理解している。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。 e:インターネットの特性をつかんでいる。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	小説を楽しむ（一）	小説 『ナイン』 ・正太郎に対するナインの思いを読み取る。 ・本文を踏まえ、人生について考える。	○	○		○	○	a:時代の推移を読み取り、自己に引きつけて人生について考えている。 b:正太郎の行為に対する中村さんの受け止め方の違いに気がつき、ナインの絆について話し合っている。 c:文章中の描写から読み取れる「わたし」の心情について、自分の考えを書いている。 d:場面の展開を理解し、作品の構成を把握いている。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。 e:日本の高度経済成長期の推移を理解している。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査
	自然」を考える	評論 『ゴリラの思いやり』 ・「ゴリラの流儀」とはどのようなものかを読み取り、筆者の主張を理解する。	○		○	○	○	a: ゴリラの生態から、人間のあり方に対する見方を広げている。 b: 教材文の内容を踏まえ、人間と野生動物との付き合い方について、自分なりの考えを発表している。 c:教材文の構成を把握し、各段落の役割を的確にまとめている。 d:筆者が説くゴリラの能力とはどのようなものなのかを理解している。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。 e:霊長類についての知識を深めている。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	伝統を受け継ぐ	随筆 『殺し文句は永遠に――恋する伊勢物語』 ・伊勢物語第六段の内容と、筆者が語る魅力を読み取る。	○	○		○	○	a:伊勢物語及び古典文学に対する関心を深めている。 b:心に深く残っている言葉について、思い出を紹介しあっている。 c:伊勢物語第六段における「殺し文句」の役割について、自分なりの考えを書いている。 d:伊勢物語第六段のあらすじを読み取り、筆者が心惹かれている点を理解している。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。 e:伊勢物語の理解を深めている。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査
	現代を考える	評論 『敬語への自覚、他者への自覚』 ・「敬語」と「他者への自覚」との関係を論理として読み取り、自分の意見を持つ。 ・「若者言葉」について考えを深める。	○	○		○	○	a:敬語や方言、若者言葉など、言葉の問題と社会のかかわりについて興味を持っている。 b:自分が若者言葉を使う具体的な場面を想像し、紹介している。 c:自らの敬語の使い方を振り返り、筆者の主張を踏まえたうえで自分の意見を書いている。 d:「敬語」「若者言葉」の特徴や、敬語の重要性を理解している。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。 e:現代日本の言語文化への理解を深めている。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	名作を読む(二)	小説 『こころ』 ・登場人物の心情とその変化、それぞれの人物像を読み取り、作品の主題を考える。 比喩表現など表現上の工夫を読み取り、その効果を考える。	○	○		○	○	a:作品の主題に迫り、自己の生き方に引きつけて考えている。 a:近代文学に興味を持ち、夏目漱石の独特な比喩表現や情景描写を味わっている。 b:登場人物の性格・心理・行動を読み取り、発表している。 c:作品の主題を考え、文章にまとめている。 d:他者とのかかわりの中で変化する「私」の気持ちを理解している。 d:比喩表現や情景描写が暗示している内容に気がついている。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。 e:明治から大正にかけての風俗や社会情勢について理解を深めている。 e:近現代文学に関する知識を増やしている。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	若い人たちへ	ルポルタージュ 『夢を建てる人々』 ・生き生きと働く宮大工の様子や気概を読み取る。 ・本文を踏まえ、自分の将来に対して展望を持つ。	○		○	○	○	a:自分の将来を考えながら、本文を読み取ろうとしている。 b:教材文を踏まえて、自分の将来の夢や仕事について考えたことを発表している。 c:自分の将来や仕事について考えたことをまとめている。 d:「陳梁」の人物像を的確に読み取っている。 d:建築現場において筆者が感動している点を読み取っている。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査
	小説を楽しむ(二)	小説 『おぼろ月』 ・風俗の描写など、時代小説の魅力を味わう。 おさとの心情が何をきっかけにどのように変化したのか読み取る。	○		○	○	○	a:作品に興味を持ち、江戸時代の風俗を思い描きながら、意欲的に読もうとしている。 b:おさとの心情について思ったことを、積極的に話し合っている。 c:おさとの心情について思ったことをまとめている。 d:作品中の月の描写の移り変わりを捉えている。 d:おさとの心情の移り変わりについて、場面ごとに的確に読み取っている。 e:漢字や語句、文章表現を正しく理解している。	行動観察 発言内容 指名音読 グループワーク ワークシート 振り返りシート ノート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。